

4月14日 ヨハネによる福音書 21章 1～14節

説教題：「復活の食卓」

イエス様は復活した後、40日の間地上に現れ、たびたび弟子たちに言葉を授けました。先週の個所で弟子たちの復活の姿を見せ、平和を祈る挨拶を行ったように、今日の個所ではともに食事をしたように、私たちの身に起きる復活もまた、「そこにいる」という実感を伴ったものになることが示されています。

今日の聖書箇所では、イエス様の業によって大量の魚を取ることができ、それを弟子たちがイエス様とともに分け合う姿が記されています。この復活後に現れたイエス様との食事は、何もとることができなかつた夜へと別れを告げる「朝の食事」でありました。

今日の個所では、弟子たちが漁を行っています。イエス様の死という絶望の出来事を経験したことによって、弟子たちもまた十字架と共に死んでしまった、少なくとも、「イエスの弟子」としての人生を、終えようと思ったのかもしれませんが。だからこそ、ただ御言葉に専念する生活を終えて、元の生活に戻るための漁を始めました。

聖書の中で魚を取るとは、伝道の比喩として度々用いられています。夜が明けるまで粘ってみたものの魚がかかる気配はなく、その気落ちした様子は、伝道を始めても成果を上げることが出来なかつた初代教会のことを暗示しているようにも思えます。そうであれば、岸辺で語るイエス様の命令に従って多くの魚をとることが出来たその光景は、初代教会がイエス様の御言葉によって力強く動き出したその光景のことを表現しているのです。

このように、今日の個所で復活のイエス様に会い、共に食事をしたその時から、彼ら弟子たちはイエス様との約束の中に生きる新たな命を与えられ、彼らもまたキリスト者として「復活」したということが出来るのです。

復活に十字架は必要不可欠でありました。イエス様の死がなければ、罪の贖いがなければイエス様の復活は起こりませんでした。そしてまた、復活の食事がなければ、私たちもまた復活することを信じ、伝道し続けることはできないのです。だからこそ私たちは、月ごとに聖餐式を行っています。イエス様の肉によって、イエス様の血潮によって、イエス様が私たちのために十字架にかかったことを思い出し、私たちもまたキリスト者として生きることを思い出すのです。そこにイエス様がいて、親しく私たちと共にいてくれていると、そう信じる事が出来るからこそ、私たちもまた御言葉を語る者になる事が出来るのです。

そしてそれだけではなく、私たちが普段、教会で行っているお茶の時間や愛餐会の食事も、この「復活の食卓」と同じ意味を持っているのです。日々の生活の中で心と体が疲れてしまい、神様の御言葉が抜け落ちてしまった時も、礼拝の中で御言葉を聞き、賛美を行い、その浄められた心と体で糧を分かち合うそれぞれの食卓は、私たちの心を愛で満たしてくれるのです。ここに主の平和がある、主の喜びの場所がある、その証しの一つ一つの食卓で示される。その喜びを胸に、今週一週間の歩みを、これからの歩みを共に進めていきましょう。

今日の説教箇所：ヨハネによる福音書 21 章 1～14 節

- 1:その後、イエスはティベリアス湖畔で、また弟子たちに御自身を現された。その次第はこうである。シモン・ペトロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、それに、ほかの二人の弟子が一緒にいた。シモン・ペトロが、「わたしは漁に行く」と言うと、彼らは、「わたしたちも一緒に行こう」と言った。彼らは出て行って、舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。既に夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。だが、弟子たちは、それがイエスだとは分からなかった。イエスが、「子たちよ、何か食べる物があるか」と言われると、彼らは、「ありません」と答えた。イエスは言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」そこで、網を打ってみると、魚があまり多くて、もはや網を引き上げることができなかった。イエスの愛しておられたあの弟子がペトロに、「主だ」と言った。シモン・ペトロは「主だ」と聞くと、裸同然だったので、上着をまとって湖に飛び込んだ。ほかの弟子たちは魚のかかった網を引いて、舟で戻って来た。陸から二百ペキスばかりしか離れていなかったのである。さて、陸に上がってみると、炭火がおこしてあった。その上に魚がのせてあり、パンもあった。イエスが、「今とった魚を何匹か持って来なさい」と言われた。シモン・ペトロが舟に乗り込んで網を陸に引き上げると、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいであった。それほど多くとれたのに、網は破れていなかった。イエスは、「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と言われた。弟子たちはだれも、「あなたはどなたですか」と問いただそうとはしなかった。主であることを知っていたからである。イエスは来て、パンを取って弟子たちに与えられた。魚も同じようにされた。イエスが死者の中から復活した後、弟子たちに現れたのは、これでもう三度目である。